

---

# タイセツ

夏目洋介

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

タイセツ

### 【ZPDF】

Z0210F

### 【作者名】

夏田洋介

### 【あらすじ】

失恋をしたときの女性の気持ちってこんな感じなのかなあ。

長い、長い間

一緒に住んでいた彼と別れた・・・

今日はそんな私のために友人たちが飲みに誘ってくれた

彼の言ったひどい言葉、彼の取った行動・・・

その一つ一つをみんなに話し

その一つ一つにみんなは同感してくれた

私は満足だった

傷ついた心をみんなに癒してもらつた

そんな友人たちが「大切」だと心から思つた

酔っ払つたまま家に帰る

ドアを開け、大きな声で「ただいまー」と言つ

返事がない

つてか何で真つ暗なの?

あつ、

・・・そつか、出て行つたんだつた

酔いが冷めてないな

キッチンに行き水を飲もうと

グラスに手を伸ばした

グラスは彼が出て行つたまま

ピンクとブルーそろいのグラスが並んでいた

・・・も〜寝よ

ベッドに流れ込む

・・・

今日は寒いな

いつもより冷たい風が体の左側を流れる

寒くなり左に体を返す

空振り

もう一度左に返す

空振り

・・・

そうだ、もういないんだった

・・・

情けなくて思わず涙が出た

存在はないのに

もういいに~~て~~は存在はしていないのに

どうしてこんなに

今になつてこんなに

その存在を感じたいのだろう

私にとって「タイセツ」なのは

あなたと過ごした日々

そして

これから日々のはずだった・・・

・・・

ベッドに座り、窓から月を見る

今日は新月なのか雲に隠れてるのか

まるで

見えなかつた・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0210f/>

---

タイセツ

2010年12月29日01時49分発行